

2022年6月15日

報道関係者各位

三菱地所株式会社

## 当社初のサステナビリティ・リンク・ボンドの発行について

～国内初、SBTi ネットゼロ新基準を前提としたサステナビリティ目標を設定～

三菱地所株式会社（執行役社長：吉田淳一、以下「三菱地所」又は「当社」）は、「三菱地所グループの Sustainability Vision 2050」の一層の推進を図るべく、サステナビリティ・リンク・ボンド（以下「本債券」）を発行予定であり、本日、本債券発行に向け、訂正発行登録書を関東財務局に提出致しましたのでお知らせします。

サステナビリティ・リンク・ボンドとは、企業が事前に設定したサステナビリティ目標の達成状況に応じて財務的・構造的に変化する可能性のある債券です。

SBTi が昨年 10 月に発表したネットゼロ新基準を前提としたサステナビリティ目標を設定した債券は国内初です。加えて、環境（E）及びダイバーシティ（S）両方に関する目標を 1 つのフレームワークに同時に設定する試みも、国内初となります。

尚、当社は 2018 年に発行したグリーンボンドをはじめとして様々なサステナビリティファイナンスに取り組んで参りましたが、サステナビリティ・リンク・ボンドの発行は当社初となります。

### ■ 本債券発行の目的及び背景

三菱地所グループは、サステナブルな社会の実現に向けて、2050 年にありたい姿を示した「三菱地所グループの Sustainability Vision 2050」を制定し、このビジョンを達成するための具体的なテーマとアクションを定めるマイルストーンとして、「三菱地所グループの Sustainable Development Goals 2030」を策定しています。また、長期経営計画 2030 においても、「事業を通じた価値提供の視点」として「Sustainability」を設定し、事業を通じた社会課題の解決を目指していくこととしています。

さらに、2022 年 3 月 9 日に公表した 2050 年ネットゼロ宣言<sup>※1</sup>で、当社グループ全体の CO<sub>2</sub> 等温室効果ガス削減目標を新たに更新するとともに、2021 年度にはダイバーシティの推進として当社に占める女性管理職比率の目標も更新しました。

当社はこれらの目標の達成を目指し、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みをより一層推進すべく、「三菱地所 Sustainability Vision 2050-Linked Bond Framework」を策定し、当該フレームワークに基づく本債券の発行を決定しました。

## ■ 本債券の概要

発行年限	中長期債中心（予定）
発行額	未定
発行時期	最速 2022 年 7 月（予定）
SPTs <sup>※2</sup>	発行年限に応じて以下の中から設定 SPT1： 2025 年度に再生可能エネルギー由来の電力比率 100%を達成 SPT2-1： 2030 年度にスコープ 1、2 の合計を 70%以上、スコープ 3 を 50%以上削減（基準年度 2019 年度） SPT2-2： 2050 年にネットゼロ達成 SPT3： 2050 年度に女性管理職比率 40%を達成
判定後の債券特性 <sup>※3</sup>	寄付、又は我が国の制度上認められた、もしくは国際的な認証機関に認められたボランタリー・クレジット等の購入
主幹事	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、大和証券株式会社、みずほ証券株式会社、シティグループ証券株式会社、野村証券株式会社、ゴールドマン・サックス証券株式会社
Structuring Agent <sup>※4</sup>	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

本債券の発行については、需要状況や金利動向を総合的に勘案した上で、発行条件を決定する予定であり、決定次第速やかにお知らせします。

## ■ 三菱地所 Sustainability Vision 2050-Linked Bond Framework

当社は、本債券の発行に際し、各種基準及びガイドライン等への適合性を満たすために、「三菱地所 Sustainability Vision 2050-Linked Bond Framework」（以下「本フレームワーク」）を策定しました。本フレームワーク詳細についてはこちらをご覧ください。

URL：[https://mec.disclosure.site/j/sustainability/activities/environment/sustainable-finance/pdf/sustainability\\_linked\\_bond\\_framework.pdf](https://mec.disclosure.site/j/sustainability/activities/environment/sustainable-finance/pdf/sustainability_linked_bond_framework.pdf)

## ■ 本フレームワークに関する第三者意見の概要

本フレームワークと ICMA サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020 及び[環境省グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2020 年版]への適合性について、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しています。

第三者意見詳細についてはこちらをご覧ください。

URL：<https://www.icr.co.jp/greenfinance/>

### 【注釈】

※1 2050 年ネットゼロ宣言：

新たなグループ全体の CO<sub>2</sub> 等温室効果ガス削減目標制定と、SBTi（The Science Based Targets initiative）が新たに制定した基準に則り 2050 年ネットゼロを宣言。

[https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec220309\\_netzero.pdf](https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec220309_netzero.pdf)

※2 SPTs：

サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット。発行体が表明する、事前に設定した時間軸における KPI の測定可能な改善目標。

※3 判定後の債券特性：

SPTs を達成するか否かに応じて変化する債券の財務的・構造的な特性。

※4 Structuring Agent：

サステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワークの策定及び第三者意見取得に関する助言等を通じて発行支援を行う者。